

(19) 世界知的所有権機関  
国際事務局(43) 国際公開日  
2002 年 9 月 19 日 (19.09.2002)

PCT

(10) 国際公開番号  
WO 02/072505 A1(51) 国際特許分類: C07B 57/00, C07C  
31/12, 31/125, 31/38, 29/74 // C07M 7:00夫 (NEMOTO, Hisao) [JP/JP]; 〒770-8079 徳島県  
徳島市 八万町大坪 Tokushima (JP). 渋谷 雅之  
(SHIBUYA, Masayuki) [JP/JP]; 〒779-3111 徳島県 徳  
島市 国府町竜王 1-16 Tokushima (JP).

(21) 国際出願番号: PCT/JP02/01644

(22) 国際出願日: 2002 年 2 月 25 日 (25.02.2002)

(74) 代理人: 大石 治仁 (OISHI, Haruhito); 〒101-0048 東  
京都 千代田区 神田司町 2 丁目 17 番地 トウセン神  
田司町ビル6階 Tokyo (JP).

(25) 国際出願の言語: 日本語

(26) 国際公開の言語: 日本語

(81) 指定国 (国内): JP, US.

(30) 優先権データ:  
特願2001-50958 2001 年 2 月 26 日 (26.02.2001) JP(84) 指定国 (広域): ヨーロッパ特許 (AT, BE, CH, CY, DE,  
DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE, TR).(71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 日本  
ゼオン株式会社 (ZEON CORPORATION) [JP/JP]; 〒  
100-8323 東京都 千代田区 丸の内二丁目6番1号 Tokyo  
(JP).添付公開書類:  
— 国際調査報告書

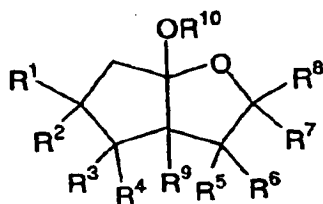
(72) 発明者: および

(75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 根本 尚

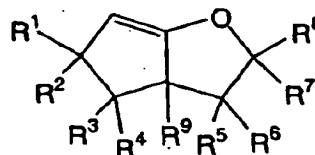
2 文字コード及び他の略語については、定期発行される  
各 PCT ガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語  
のガイダンスノート」を参照。

(54) Title: OPTICAL RESOLVER AND METHOD OF OPTICALLY RESOLVING ALCOHOL WITH THE SAME

(54) 発明の名称: 光学分割剤及びそれを用いるアルコールの光学分割方法



(1)



(2)

(57) Abstract: An optical resolver comprising at least one of compounds represented by the following formulae (1) and (2) (1) (2) (wherein R<sup>1</sup> to R<sup>8</sup> each represents hydrogen or C<sub>1-20</sub> alkyl; R<sup>9</sup> represents optionally substituted C<sub>1-20</sub> alkyl, optionally substituted C<sub>1-20</sub> alkenyl, formyl, or acyl; and R<sup>10</sup> represents C<sub>1-6</sub> alkyl; provided that the molecule represented by the formula (1) is of the cis configuration with respect to R<sup>9</sup> and OR<sup>10</sup>); and a method of optically resolving with the optical resolver an alcohol having an asymmetric carbon atom in the molecule and represented by the formula (3): (R<sup>11</sup>)(R<sup>12</sup>)(R<sup>13</sup>)COH (wherein R<sup>11</sup>, R<sup>12</sup>, and R<sup>13</sup> each represents hydrogen or optionally substituted C<sub>1-20</sub> alkyl, provided that at least one of R<sup>11</sup>, R<sup>12</sup>, and R<sup>13</sup> is not hydrogen). The method of optical resolution is highly suitable for general purposes. By the method, a mixture of optical isomers of any of various alcohols can be optically resolved easily and industrially advantageously.

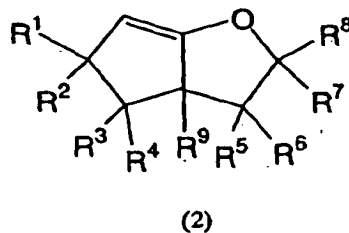
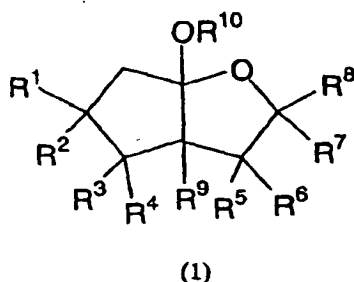
[続葉有]

WO 02/072505 A1



(57) 要約:

本発明は、下記の式 (1) 又は (2)。



(式中、 $R^1 \sim R^8$ は水素原子又は炭素数1～20のアルキル基を表し、 $R^9$ は、置換基を有していてもよい炭素数1～20のアルキル基、置換基を有していてもよい炭素数1～20のアルケニル基、ホルミル基又はアシル基を表し、 $R^{10}$ は炭素数1～6のアルキル基を表す。但し、式(1)中、 $R^9$ と $OR^{10}$ で表される基とはシス配置である。)で表される化合物の少なくとも1種からなる光学分割剤、及び該光学分割剤を用いる式(3)： $(R^{11}) (R^{12}) (R^{13}) COH$  (式中、 $R^{11}$ 、 $R^{12}$ 及び $R^{13}$ は、水素原子又は置換基を有していてもよい炭素数1～20のアルキル基を表す。但し、 $R^{11}$ 、 $R^{12}$ および $R^{13}$ の少なくとも一つの基は水素原子ではない。)で表される分子内に不斉炭素原子を有するアルコールの光学分割方法である。本発明の光学分割方法は一般性及び汎用性に富むものであり、種々のアルコールの光学異性体混合物を簡便かつ工業的に有利に光学分割することができる。